

2007 生涯学習フェスティバル

第42回みよし町民文化祭

テーマ 「未来につなげよう 三芳の文化」

期 間 前期 10月27日(土)～30日(火)、後期 11月1日(木)～4日(日)

会 場 藤久保公民館/竹間沢公民館/文化会館「コピスみよし」

芸術・文化の秋。お子さんから大人までの色とりどりの作品、演技をご鑑賞、ご参加ください。

問い合わせ

藤久保公民館 ☎258-0690

竹間沢公民館 ☎259-8311

中央公民館 ☎258-0050

藤久保公民館イベント

ふるさと三芳の芸術・味覚など、町の文化が一同に紹介します。

作品展示

前期 10/27(土)～10/30(火)

後期 11/1(木)～11/4(日)

時間 10:00～16:00 (前後期とも最終日は15:00まで)

ホール→絵画、書道、文芸、陶芸、写真、彫刻、水墨画、パッチワーク、和小物、皮細工、編物、ちぎり絵、能面、籐工芸、版画、切絵、篆刻等

ロビー→生け花、菊、山野草、フラワーアレンジメント

※会期により、展示内容が変わります。

子どもの絵コンテスト作品展示

10/27(土)～11/4(日)

三芳の未来を担う、子ども達による絵画展です。子どもならではの自由な発想を見て、感じてください。

時間 10:00～16:00

サークル活動体験イベント

10/27(土)・10/28(日)・11/3(祝)・11/4(日)

場所 2階各部屋

内容 パッチワーク (即売有) デッサン、折り紙、編物、絵手紙、篆刻、籐工芸、フラワーアレンジメント、切り絵

※会期によって内容等が異なります。詳しくは、お問い合わせください。

みらい広場イベント 11/4(日)

子どもから大人まで、様々なダンスをお楽しみください。

場所 みらい広場

時間 12:30～14:30

内容 1 キッズダンス ビーチ
2 フラダンス プアモアニ藤久保・竹間沢、ケアロハみよし
3 フォークダンス フリージア

催し 11/3(祝)・11/4(日)

日時・内容

3日 10:00～15:00(和室)お茶席
4日 10:00～15:00(和室)囲碁将棋大会
13:30～15:00(学習室) 講談
18:00～21:00(ホール)社交ダンスの調べ

軽食コーナー 10/28(日)～11/4(日)

ふるさとの味がもりだくさん！
《三芳町食生活改善推進員協議会・三芳町甘藷同好会》

日程・内容

10/28(日) カステラ・コーヒー
10/29(月) 赤飯
10/30(火) 手作り味噌おでん、飲み物
11/1(木) 赤飯
11/2(金) 豚汁
11/3(祝) クッキー、飲み物
11/4(日) やさいも
場所 ロビー・みらい広場
時間 10:00～ ※なくなり次第終了です。

コピスみよし大ホールイベント

カラオケの集い・ダンスダンスダンスなど参加者の熱演をご期待ください。

カラオケの集い 10/27(土)

時間 開場 11:30 開演 12:00
終了予定 15:30

内容 聞いて、参加して楽しめるカラオケイベントです。

ダンスダンスダンス 10/28(日)

時間 開場 11:00 開演 11:30
終了予定 14:30

内容 キッズからベテランまで、ダンスでつづるワールドツアー！

竹間沢公民館イベント

今年は民舞民謡・音楽祭を2日間にわたって行います。皆さんの熱演が楽しみです。

民舞・民謡のつどい 11/3(祝)

時間 開場 11:30 開演 12:00
終了予定 17:00

内容 唄と踊りで彩る日本の心！

※ホールイベントは進行により、プログラム変更や時間が前後することがあります。

音楽祭 11/4(日)

時間 開場 11:30 開演 12:00
終了予定 16:30

内容 多彩な楽器と澄んだ歌声、胸に響く音の祭典です。

がんから身を守りましょー

日本人の死亡原因の第1位が何であるかご存じですか？

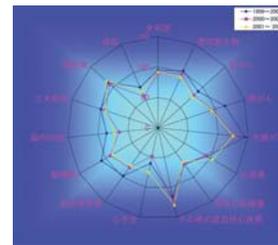
以前は、「脳血管疾患(脳卒中)」でしたが、昭和56年から「悪性新生物(がん)」が1位を占めるようになりました。その後も年々増加し、平成17年では、死亡者の3人に1人が、がんで亡くなっています。

今月号では、町の状況も含めてがんの予防についてお知らせします。

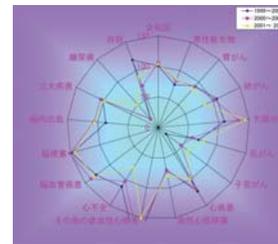
問い合わせ 保健センター ☎258-112336



三芳町 男性の標準化死亡率 (過去3年間)



三芳町 女性の標準化死亡率 (過去3年間)



がんという病気は、人間の体を作っている細胞が「がん化」して増えることで、病気としてあらわれるものです。「遺伝だから...」「環境だから...。」と、思ってしまうところはありますか？

医学の進歩とともに、研究・治療も進歩し、がんは治せる病気になりつつあります。1つの要因ですぐにがんになるわけではなく、何年もかかって正常な細胞が変化していくことが多いのです。

それでは、町ではどうでしょうか。埼玉県衛生研究所のまとめによると、町の死亡原因については、左図のような状況になっています。

がんから身を守るためには、症状が出てから病院を受診し発見されるよりも、定期的な検診による早期発見が確実な治療へとつながります。検診で早期発見・治療をし、死亡を防ぐことを「二次予防」と呼びます。がんを発見する検診の精度も、医学の進歩に伴い高くなってきています。

特に、働き盛りの年齢でかかる女性が多くなってきた子宮がん・乳がんについては、定期的に「婦人科検診」を受け、早期にがんを発見することで、がんによる死亡を防げる可能性が高くなります。

また、埼玉県に比べ町では大腸がんが増えてきている方が多いのですが、「大腸がん」についても、検診を受け、早期発見・治療を行うことで、死亡を防げる可能性の高いものです。

定期的にはがん検診を受け、がんを早期に発見し、治療を行なうということは、がんから身を守るためには、大変重要なことです。町では、がん検診の受診率が、まだまだ低いのが現状です。ぜひ、職場や町の検診を有効に活用してください。

また、がんの発生を予防することを「一次予防」と呼びます。発生活要因を減らすためには、バランスのとれた食事が効果的です。好きなのばかりでなく、多くの食品を取り入れた食事を心がけてください。発生活要因として、食物の占める割合が30%、たばこの占める割合が30%とされています。

がんの予防のために：
・禁煙を心がけましょう
・脂肪・塩分は控えめに
・日光にあたりすぎず
・適度に体を動かしましょう
・定期的な検診を受けましょう

問い合わせ 保健センター ☎258-112336